

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立高田中学校

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」



研修

個別最適な学習を促進するためのAIドリルの活用

目的：AIドリルの基本的な機能を理解し 学校全体での推進を図る

【AIドリル※の全校での一斉活用】

個別最適な学習としての「持ち帰りの際の端末有効活用」や「授業内での活用事例」及び「目標設定機能」を活用することで、生徒のさらなる個別最適な学びを促進するための研修を実施しました。



研修企画担当の先生のコメント

これまでの活用は、生徒の学習量の向上に比重を置いていたが、学年などのグループごとに目標設定機能を活用することで、生徒の自主性を尊重した上での評価や進捗確認が可能となる。また、出題や採点が自動化されることによって、教師の負担が軽減されるので、学校全体で推し進めていきたいと考えている。

《研修の流れ》

1 概要紹介

AIドリルの基本操作に関するレクチャー及び活用事例の共有

2 基本操作・設定

AIドリルを活用した課題の設定方法や、生徒画面での見え方について理解

3 個別最適な学びを促進する機能

目標設定機能を使い、生徒に課題を配信したり、生徒の進捗状況を確認したりする方法を理解

4 効率的な分析・把握

つまずきの診断から、知識の定着を図る効率的な機能について理解



※AI学習ドリルサービスを利用